

中期経営計画「Vプラン26」の進捗

重点戦略 3 サステナビリティ経営の推進

ノーリツグループでは、ステークホルダーからどのようなことを期待・要請されているかを意識し、企業価値を向上するために「Q＋ESG」を未財務価値の構成要素であると捉え、実践してきました。

2024年には、多様化するステークホルダーからの要請や期待を踏まえ、財務インパクトにつながる6つのマテリアリティを定めました。「Q＋ESG」と共に2030年の「ありたい姿」の実現に向け、重点課題として取り組んでいます。



マテリアリティの取り組みと指標

重点課題		機会	主な取り組み	指標	2030年ありたい姿	Vプラン26 2026年目標	2025年末実績
事業継続における重点課題	 1 つながりを起点とした顧客価値最大化	● サービス対応で安心・安全による顧客基盤を固め、保守・メンテナンス主体の新たなビジネスモデル・収益基盤を創出	● お客さまとの「つながり」強化	● 製品・サービスを通じたつながり数(累計)	● つながり数900万件	● 600万件	● 506万件
	 2 カーボンニュートラル／社会課題対応	● 製品・サービス提供を通じた新たな社会価値(カーボンニュートラル・お湯の価値・食の価値)の創出	● 温水・環境配慮型商品(高効率給湯器)と厨房・社会課題解決型商品のスタンダード化	● 環境配慮型商品の販売構成比	● 環境配慮型商品90%	● 50%	● 44.3%
			● 設備更新による施設のカーボンニュートラル貢献	● 社会課題解決型商品の販売構成比	● 社会課題解決型商品40%	● 37%	● 31.3%
			● 熱ソリューションビジネスの確立	● 製品のCO ₂ 排出量(2018年比)	● 製品CO ₂ 2018年比▲30%	● ▲20%	● ▲29.3%
資本強化における重点課題	 3 カーボンニュートラル・資源循環促進による自然資本開発	● 自社・社会の環境負荷を減らすことで、持続可能なビジネスモデルを確立	● 事業活動によるCO ₂ 排出量の削減 ● リサイクルビジネスの促進	● RE100達成 ● 製品リサイクル回収台数	● 事業CO ₂ 2018年比▲50% ● 製品リサイクル回収30万台	● 明石本社工場達成 ● 15万台	● — ● 8.5万台
	 4 事業拡大に向けた知的資本開発	● 技術力による競争優位性の確保 ● 競合他社との差別化	● 社会課題解決型技術の創造と世界展開 ● 経営品質向上によるコーポレートブランド強化	● カーボンニュートラル・ウェルネス等の新技術獲得数 ● ブランド戦略サーベイ総合スコア	● パテントor 新ビジネスモデル5件 ● ブランド戦略サーベイ総合スコア600	● 5件 ● 585	● 1件 ● 579
	 5 事業を支える人的資本開発	● 多様な人材の能力発揮を促し、組織全体としての力を最大化 ● 個々の強みを活かしたイノベーションの促進	● 従業員ウェルビーイングの実現 ● ダイバーシティ&インクルージョン	● エンゲージメントサーベイ総合スコア	● エンゲージメントサーベイ総合スコア73	● 70	● 69
	 6 DX等による製造資本開発	● DXによる製造効率の改善	● ものづくり変革(DX活用・ロボット導入・モジュール設計等)	● 本社工場の自動化率	● スマートファクトリーの実現	● ガス給湯器ライン自動化率70%	● —

Q＋ESGの取り組みとマテリアリティの関係

